

【第10回歴史都市防災シンポジウム】

開催日時：2016年7月9日（土） 10：30～17：30

開催場所：立命館大学 衣笠キャンパス 存心館

参加者：105名

講演者：立命館大学 歴史都市防災研究所 土岐憲三教授 他

概要：

立命館大学衣笠キャンパスにて、第10回歴史都市防災シンポジウムを開催した。歴史都市や文化遺産の防災に関する28件の研究発表と活発な討議が行われ、全国から約105名の参加があった。

セッションは、防災技術、火災・防火、防災計画、歴史と防災、交通・避難に関する6セッションで、それぞれ座長である本学の教員のもと、さまざまな研究発表と活発な討議が行われた。

また学術セッション終了後には、歴史都市防災研究所土岐憲三教授による特別講演「歴防の10年を振り返って」が行われ、これまでに実施された研究活動の10年間の歩みを報告し、国際的にも高い評価を得てきた研究成果に多数の参加者が熱心に聞き入っていた。

さらに今回は、特別セッションも行われ、李明善氏（大韓民国 文化財庁）から「木造文化財における防災力評価手法について」、及び JO Sang-Sun 氏（大韓民国 国立文化財研究所）から「韓国の文化遺産における安全防災研究の現況と課題」をご報告いただき、韓国における文化財の現状を知る貴重な場となった。

なお、シンポジウムで発表された研究成果については「歴史都市防災論文集 Vol.10」として刊行している。



会場の様子



特別講演の様子

【立命館大学 ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2016】

開催日時：2016年9月10日（土）～9月26日（月）

開催場所：立命館大学 衣笠キャンパス 歴史都市防災研究所 他

参加者：15名

概 要：

2016年9月10日から26日まで約2週間にわたり、立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2016を実施した。第11回目となる本年度は、世界各国より15名の応募者があり、その中から、ブラジル、ケニア、ヨルダン、メキシコ、スペイン、ニュージーランド、ボスニアヘルツェゴビナ、ルーマニア、パナマ、フィリピン、モロッコ、インド、チリ、パキスタン、ペルーから計15名の研修者を選出し、招聘した。

研修者は、日本の文化遺産と危機管理に関する取り組みを、京都での講義と見学、実習を通して学び、長期的な復興について阪神淡路大震災から20年を経た神戸で学んだ。また、たびたび台風等による洪水の被害に見舞われている兵庫県篠山地域では、地元のリソースパーソンを講師として、実践的なワークショップを行った。さらに、最終日には国際研修の10周年を記念したシンポジウムを行い、過年度の研修修了者を招聘し、研修成果を活かして自国でどのような実践を行っているのか発表を行った。シンポジウムでは本研修に対して支援をいただいているトヨタ財団より伊藤博士常務理事をお招きし、研修に対する評価と今後の期待についてお言葉をいただいた。

立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修は、これまで実施した研修実績をもとに、立命館大学内外の研究者、国際連合教育科学文化機関（UNESCO）、文化財保存修復研究国際センター（ICCROM）、国連国際防災戦略（UNISDR）など国際機関、文化庁をはじめとする行政、そして現場の専門家など多彩な講師陣、また、世界各国からの研修者の積極的な参加により高い評価を得ている。

本国際研修では、今後も、当研究所の研究成果に基づいた国際社会に向けた成果発信や貢献活動を継続していく。



集合写真



清水寺での講義



仁和寺での消防設備見学



神戸風見鶏の館見学



地元講師とともに篠山地区ワークショップ



ディスカッション・ケーススタディ



記念シンポジウムパネルディスカッション



修了証の授与

【講師一覧】

■国外招聘講師

Joseph Allan KING	Director of the Sites Unit, ICCROM
German Tiango VELASQUEZ	Chief of Section, Advocacy and Outreach UN Office for Disaster Risk Reduction (UNISDR)
Giovanni BOCCARDI	Chief, Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR Culture Sector, UNESCO)
Lee BOSHER	Senior Lecturer, The School of Civil and Building Engineering, Loughborough University
Kai Ube Prasad WEISE	Architect, Planners' Alliance for the Himalayan & Allied Regions (PAHAR Nepal)
Juan Diego BADILLO REYES	Architect Conservator freelance, Volunteer South America

	Coordinator
Zeynep Gül ÜNAL	Assistant Professor, Faculty of Architecture, Restoration Department, Yildiz Technical University
Sang sun JO	Senior Researcher, Research Division of Architectural Heritage National Research Institute of Cultural Heritage
Barbara CARANZA	President of Chief, (Cultural Heritage International Emergency Force) Onlus
Hatthaya	Specialist in Cultural Heritage Conversation, SEAMEO SPAFA,
SIRIPHATTHANAKUN	Regional Centre for Archaeology and Fine Arts
Abdelhamid Salah	Chairman, Conservator in the Ministry of Antiquities, Egyptian
Abdelhamid SAYED	Heritage Rescue Foundation (EHRF) ; Training & Capacity Building Unit Manager, Egyptian Earth Construction Association (EECA)
Wesley Webb CHEEK	Urban Studies Pre-Doctoral Fellow, City, Culture and Community, Tulane University

■国内招聘講師

金井 健	文化財調査官文化庁文化財部参事官 (建造物担当) 整備活用部門
村上 裕道	兵庫県教育委員会・教委事務局参事 (文化財担当)
鶴岡 典慶	京都府教育庁指導部文化財保護課・建造物担当課長
町田 善軌	京都市消防局安全救急部市民安全課・市民安全課長
小宮 睦	京都府教育庁指導部文化財保護課
澤井 健二	摂南大学・名誉教授
平岡 善浩	公立大学法人宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科・教授
植木 友	篠山市教育委員会事務局社会教育・文化財課 文化財係
小林 一三	篠山まちなみ保存会 会長
森本 寛	篠山まちなみ保存会 会員
北山 米造	篠山まちなみ保存会 会員

■学内講師

土岐 憲三	衣笠総合研究機構・教授
Rohit JIGYASU	衣笠総合研究機構・教授
板谷 直子	衣笠総合研究機構・准教授
大窪 健之	理工学部 都市システム工学科・教授
深川 良一	理工学部 都市システム工学科・教授
吉富 信太	理工学部 建築都市デザイン学科・教授
藤本 将光	理工学部 都市システム工学科・助教
里深 好文	理工学部 都市システム工学科・教授
中谷 友樹	文学部 地域研究学域・教授

花岡 和聖 文学部 地域研究学域・准教授
金 度源 衣笠総合研究機構・准教授

■見学ワークショップ等補助若手研究者

崔 明姫 衣笠総合研究機構・専門研究員
谷端 郷 衣笠総合研究機構・専門研究員
石田 優子 総合科学技術研究機構・専門研究員

【第 10 回 夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト】

表彰式：2016 年 10 月 22 日（土）

開催場所：立命館大学 創思館カンファレンスルーム および

歴史都市防災研究所 地階カンファレンスホール

応募作品：72 作品 169 名

協 賛：セコム株式会社、株式会社パスコ、日本ミクニヤ株式会社、F レンタリース株式会社、株式会社帝国書院、第一通商株式会社、マツモラ産業株式会社、株式会社宝水、株式会社ネスト・ジャパン、NPO 法人災害ボランティアステーション日本（順不同）

後 援：国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS 京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人人文地理学会、立命館地理学会、NPO 災害から文化財を守る会、京都府警察（順不同）

概 要：

立命館大学歴史都市防災研究所では、大学による社会貢献活動の一環として、地域の安全安心を考える取り組みを評価・促進することを目的に、2007 年度より小学生とその保護者を対象とした「地域の安全安心マップコンテスト」を実施している。今年度はその 10 回目を開催した。本事業は、身のまわりに存在する地震、津波、台風や集中豪雨といった自然災害や、歩行者と自動車や自転車との接触事故、子供を狙った犯罪のリスクなど、安全安心を脅かす要素を小学生以下の子供という災害時要援護者ならではの視点から地図にまとめることで、周囲の大人たちと情報を共有する取り組みである。

今回は 169 名から 72 作品の応募があり、応募作品数は前回の約 1.5 倍に増加した。また、13 都府県からの応募があり、全国的な広がりも見られた。今回の最優秀作品である「校区安全マップ」は、膨大な情報量を多彩な表現方法を駆使して、分かりやすくまとめ、見ていて楽しい作品に仕上げられた点が評価された。

昨年度と同様に、今年度も当研究所の若手研究者が中心となり、京都府内の小学校に出向いて出張授業を実施するなど、子供の防災や身の回りの安全に対する意識の醸成につながる活動にも力を注いだ。子どもが地域にひそむ身近な危険について地域での情報共有が図れるよう、当該事業を研究所活動の柱の一つとして、引き続き実施する予定である。



表彰式の様子



受賞者による作品紹介の様子

【GIS Day in 関西 2016】

開催日時：2016年10月22日（土）10：00～17：00

開催場所：立命館大学 衣笠キャンパス 創思館／有心館

共 催：立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学文学部地理学教室

後 援：人文地理学会、日本地理学会、地理情報システム学会、GIS NEXT

協 賛：株式会社パスコ、ESRI ジャパン

参加者：40名

講演者：

- ①藤井 辰典（京都府警察本部生活安全企画課犯罪抑止対策室地域安全対策係長）
- ②木下 克己（大津市 CIO 補佐官）
- ③瀬戸 寿一（東京大学 空間情報科学研究センター・特任講師）

概 要：

情報活用推進基本法の施行を受け、国をあげた基盤地図情報の整備や産学官連携での GIS の浸透が進んでいる。こうした社会的な背景の下、「GIS Day in 関西 2016」を開催した。2016 年度は地域の安全安心マップコンテストが第 10 回を迎えることから、サブタイトルを「みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト第 10 回記念」とした。

当日は 2 部構成で行われ、第 1 部は、講演会として、①京都府警察本部生活安全企画課犯罪抑止対策室地域安全対策係長の藤井辰典氏が、京都府警における地理情報等を活用した犯罪・交通事故抑止対策について、②大津市 CIO 補佐官の木下克己氏が、大津市での「安心安全なまちづくり」の取り組みについて、③東京大学 空間情報科学研究センター・特任講師の瀬戸寿一氏が、オープンデータを活用した地域の安全安心への諸外国等の先進的取り組みについて講演を行い、参加者が興味深く耳を傾ける姿が見られた。そして、講演に引き続き、「第 10 回地域の安全安心マップコンテスト」表彰式が開催された。

午後からの第 2 部として行われたワークショップ「GIS Workshop」では、3 つのコースにわかれ、ArcGIS や ArcGIS Online を用いた一般向けの体験実習に加え、GIS による災害予防・事前対策研修の応用実習などが開催された。当日は約 40 人の参加者が集まり、会場は大盛況であった。



講演会の風景



GIS ワークショップの風景

【歴史都市防災研究所定例研究会】

歴史都市防災研究所では、研究メンバーがそれぞれの研究成果について報告をする場として、研究会を定例開催している。発表者および参加者は、当研究所所属の教員、専門研究員等の若手研究者、学生、および客員研究員として当研究所の活動に参画いただいている学外の関係者である。各研究部会・プログラムで進めている研究プロジェクトについて、多岐にわたる専門分野の研究者が活発に意見交換を行う機会として、来年度以降も継続予定である。

今年度開催した各回の内容については、以下のとおりである。

2015 年度

【第7回定例研究会】

開催日：2016年3月5日（土）13：30～16：30

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：*所属は開催時現在

運営委員会からの報告（全体概要）

大窪 健之（歴史都市防災研究所 所長）

各研究部会からの報告

- ①文化遺産防災技術研究部会
- ②歴史災害研究部会
- ③歴史都市防災計画研究部会
- ④文化遺産における人災・獣害研究部会
- ⑤歴史都市・文化遺産の継承と保全のための政策研究部会
- ⑥国際展開・社会連携研究支援プログラム

評価委員からの内部評価

委員会等からの報告・連絡事項

2016 年度

【第1回定例研究会】

開催日：2016年4月23日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

大窪 健之（歴史都市防災研究所 所長）

「2020年に向けた研究所活動について」

中谷 友樹（文学部 教授）

「ジオデザインとは何か」

武田 史朗（理工学部 准教授）

「複合的土地利用と『空間の質』～オランダの事例を通して～」

【第2回定例研究会】

開催日：2016年5月28日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

各研究部会活動計画

中谷 友樹（文学部 教授）

「歴史文化都市を守る防災学のジオセンシングとジオデータ基盤研究部会」

鈴木 祥之（衣笠総合研究機構 教授）

「歴史文化都市のジオアセスメントによる防災技術研究部会」

青柳 憲昌（理工学部 講師）・豊田 祐輔（政策科学部 准教授）

「歴史文化都市のジオデザインによる防災計画研究部会」

【第3回定例研究会】

開催日：2016年6月18日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

大窪 健之（理工学部 教授）、金 度源（衣笠総合研究機構 准教授）、石田 優子（総合科学技術研究機構 専門研究員）、崔 明姫（衣笠総合研究機構 専門研究員）、谷端 郷（衣笠総合研究機構 専門研究員）

「熊本地震・緊急現地調査報告」

鈴木 祥之（衣笠総合研究機構 教授）

「2016年熊本地震による建築被害調査－速報」

【第4回定例研究会】

開催日：2016年10月15日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

中谷 友樹（文学部 教授）、谷端 郷（衣笠総合研究機構 専門研究員）

「歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース」

石田 優子（総合科学技術研究機構 専門研究員）

「歴史文化地域環境のジオアセスメントによる防災技術 進捗報告」

鐘ヶ江 秀彦（政策科学部 教授）

「イタリア帰国報告会」

【第5回定例研究会】

開催日：2016年11月26日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

小川 圭一（理工学部 准教授）

「交通工学・交通計画の研究と歴史都市防災の研究」

棚橋 秀光（衣笠総合研究機構 客員研究員／TASS デザイン研究室）

「伝統木造の仕口とめり込みのメカニズム」

金 度源（衣笠総合研究機構 准教授）

「京都市先斗町における初期消火能力評価・避難時の課題抽出」

「立命館大学ユネスコ・チェア『文化遺産と危機管理』国際研修開催報告」

【第6回定例研究会】

開催日：2017年1月21日（土）10：00～12：00

開催場所：キャンパスプラザ京都4階 第4講義室

発表者および報告内容：

宗本 晋作（理工学部 准教授）

「模型を用いた記憶や思い出の抽出に関する報告—記憶の街やおもひでポインティングの実施を通して—」

藤本 将光（理工学部 助教）

「京都市東山地区における地盤災害および環境防災に関する研究」

崔 明姫（衣笠総合研究機構 専門研究員）

「全国社寺の被災経験と保全継承に関する社会調査の報告」

【第7回定例研究会】（予定）

開催日：2017年3月4日（土）13：30～16：30

開催場所：キャンパスプラザ京都2階 第1会議室

発表者および報告内容：

各研究部会 2016年度活動報告・2017年度活動計画（予定）

内部評価／その他委員会からの報告